

図14 野生型マウスのヒストグラムと脳ポテンシャル

a. 野生型マウスの典型的な1個体について、覚醒時、徐波睡眠時、レム睡眠時PSTがV軸 ($\pm 0.6\text{mV}$)、dV/dt軸 ($\pm 60\text{mV/s}$)と交わる点の数についてヒストグラムを作成した。3状態のヒストグラムは異なったパターンを示していた。b. aで作成したヒストグラムの上下を倒置して、脳ポテンシャルを作成した。図中の矢印は睡眠状態の移行方向を示す。野生型マウスでは覚醒からレム睡眠への直接転移は生じない。

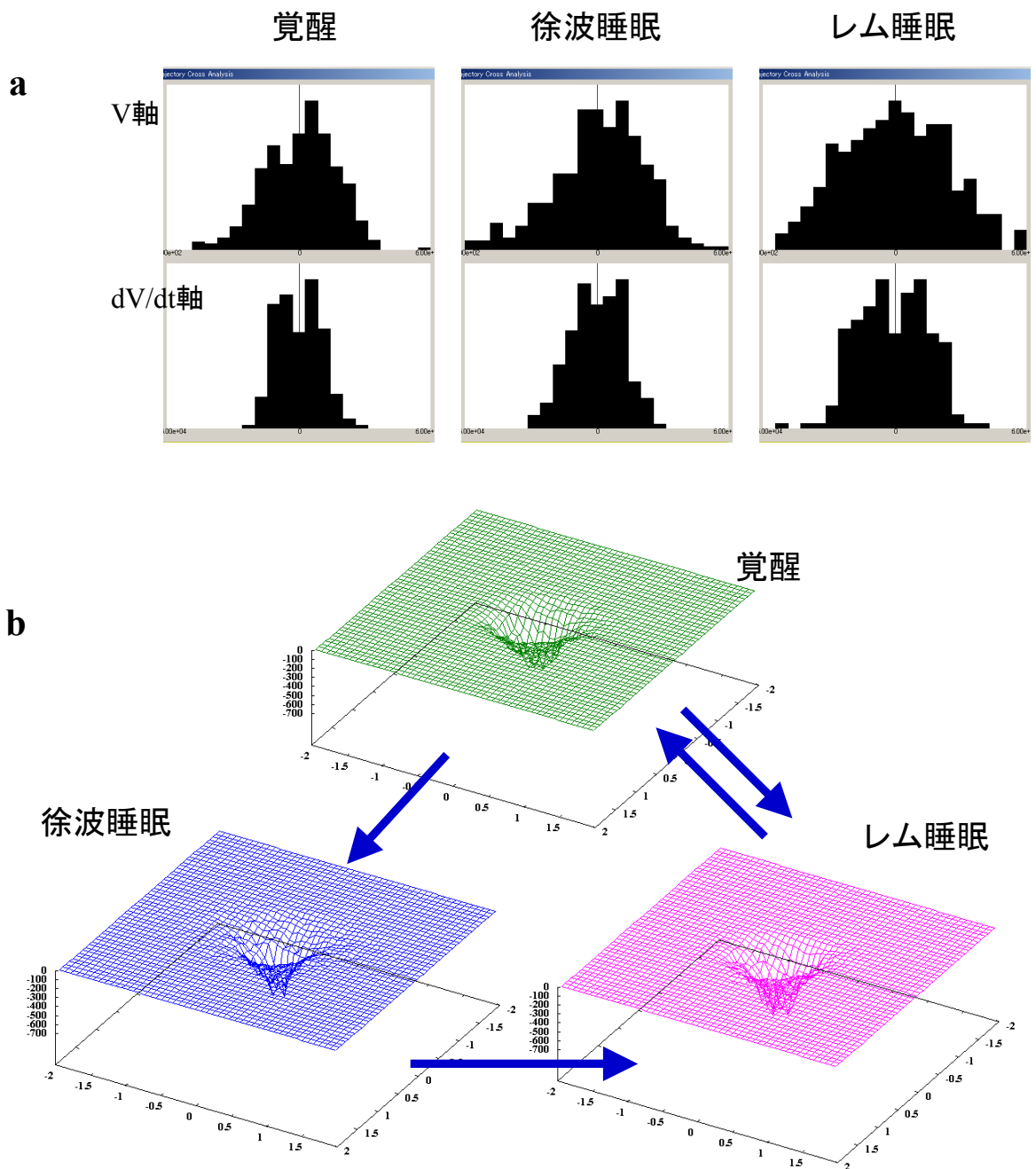


図15 PLCβ4-遺伝子欠損マウスのヒストグラムと脳ポテンシャル

a. PLCβ4-遺伝子欠損マウスの典型的な1個体について、覚醒時、徐波睡眠時、レム睡眠時 PSTがV軸 ($\pm 0.6\text{mV}$)、dV/dt軸 ($\pm 60\text{mV/s}$)と交わる点の数についてヒストグラムを作成した。3状態のヒストグラムは類似していた。b. aで作成したヒストグラムの上下を倒置して、脳ポテンシャルを作成した。図中の矢印は睡眠状態の移行方向を示す。PLCβ4-遺伝子欠損マウスでは覚醒からレム睡眠への直接転移が生じた。